別添１－１

# 令和７年度　自己評価及び学校関係者評価書

令和 8 年 2 月 16 日

札幌市立 南月寒小学校

## １　今年度の重点目標

「つながり」を広げ、未来をつくる子ども～「つながり」が広がる学校づくり

## ２　本年度の経営方針

**「つながり」を広げる教育活動**
◆学びの「つながり」が広がる学習・授業　◆社会・生き方との「つながり」が広がる活動や体験
◆子ども同士の「つながり」が広がる学校生活　◆保護者・地域との「つながり」が広がる場

## ３　自己評価結果に対する学校関係者評価

| 分野 | 重点項目 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 達成状況 | 改善方策 | 自己評価の適切さ | 改善策の適切さ |
| 目指す子ども像 | 「つながり」を広げる子ども | ・学ぶ力、豊かな心、健やかな体の育成のため、全教員が「つながり」を広げ,未来に向かって歩みを進める子どもを育むという共通認識に立ち、協働して実践に当たっている | A | 教職員がより一層「一人一人の子どものよさをつなげる」意識をもち、教育活動を推進するように努める。互いに認め合い、高め合える集団の育成を目指すとともに、評価と改善の一体化を強化し、教職員間で情報やアイディアを率直に共有し、協力して解決策を見出していけるような環境づくりに努める。 | A | A |
| 学校関係者評価委員会による意見 | | ○子どものよさを見付け出して全体につなげ、一体化する努力は大変なことだと思いますが、先生方がその目的に向かって協力していけば良い結果につながると思う。<br>○素晴らしい理念だと思います。期待しています。<br>○改善方策の中にもありますように、目指す子ども像について教職員間でしっかり共有されていくことによって、より充実した教育活動につながっていくものと考えます。<br>○委員会に出席させて頂き学校の様子が分かり良いと思う。質問に対してきぱきと返答して下さいまして対応には関心しております。 | | | | |
| 人間尊重の教育 | 自分が大切にされていると実感できる教育活動の推進 | ・「総合的学習の時間」を中心に地域や人との関わりを大切にした学習の充実を図る。自分が支えられていることを実感できるよう、多様な子どもたちの考えを認め寄り添いながら導く指導を大切にしている | A | 今年度は総合的学習の時間、生活科のカリキュラムを見直し、地域とのつながりを大切にした教育活動を全学年実施した。今年度の実践をさらにブラッシュアップし、自分が支えられていることを実感することで、自分たちの地域に愛着をもてるような活動にしていく。道徳の学習や行事等を通して、自分の成長を実感し、お互いの頑張りを認め合うことができるように活動内容をより充実させることで、一人一人が安心して学校生活を送れるように関わっていく。 | A | A |
| 「学ぶ力」の育成 | 学んだことのつながりを実感し、学びの広がりを広げる子どもの育成 | ・教職員全員による公開授業や授業改善に向けた校内研修等により、教師の指導力向上や指導方法の改善が図られている。 | A | 教職員による公開授業・授業検討を行い、「主体的に学ぶ子」の育成を目指した授業改善や指導力の向上、指導方法の改善を図っていく。校内研修では、先生方のニーズに合わせたテーマを設定し、明日の子どもに活かせる研修を目指す。 | A | A |
| 「豊かな心」の育成 | 人とのつながりを実感し、心のつながりを広げる子どもの育成 | ・３つの「あ」「挨拶」「歩き方」「後片付け」から特に「挨拶」の定着に向けて、適切な指導と児童の主体的な活動が効果を上げている | B | 今年度は「挨拶」に重点をおき、委員会活動等を活用しながら、児童の主体的な活動を支援してきた。パートナー校との合同挨拶運動も引き続き行っていく。児童と教員の意識に差があることから、次年度は、年間を通して児童の実態を適切に把握し指導を行うことで、児童の意欲を持続させていけるように努める。さらに、教職員の意識を高めることで、学校一丸となって挨拶があふれる活気のある学校づくりに努める。 | A | A |
| 「健やかな体」の育成 | 生活と体のつながりを実感し、健康のつながりを広げる子どもの育成 | ・学校行事を通して、学年を超えてお互いのよさに気付き、認め合い、つながりを感じながら、自分の役割・課題を意識してこれからの自分につなげていく | A | 学校行事では、異学年との関わりを意識して活動を進めたことにより、互いに認め合う姿が見られた。次年度からも、互いのよさを認め合い、「あこがれ」と「伝統」を継承を促していけるように活動を工夫し、関わっていく。また、外遊びを推奨するとともに、児童が十分に活動できる場を工夫することで、日常的に体を動かすことができるようにする。 | A | A |
| いじめ対策 | 児童一人一人が安心して学校生活を送ることができるような環境づくり | ・いじめと思われる事案が発生したときには、迅速に状況を確認し教職員が一丸となって組織的に対応している。 | A | 定期的に「いじめ防止対策委員会」を開催し、児童の様子を共有してきた。事案が発生したときには、迅速に状況を確認し組織的に対応することができているので、次年度も引き続き、担任の先生方とも連携を図りながら、いじめを見過ごさない、見逃さない体制を構築していく。 | A | A |
| 一貫性・連続性のある教育（小中一貫した教育） | 子どもの知・徳・体の調和のとれた育ちの一層の充実 | ・各学校のグランドデザインにおける目指す児童・生徒の姿を共有し、１０年間の系統性・連続性のある教育の実現を目指している | A | 今年度の成果をもとに、各学校のグランドデザインを見直し、各校の実態を考慮しながらより持続可能な教育の充実に努める。次年度は、授業づくりや、日常の様子の交流する機会を増やし、目指す児童・生徒の姿をよりはっきりさせ、具体的な取組を模索するとともに、その実現を目指す。 | A | A |
| 学校関係者評価委員会による意見 | | ○先生方の対応には感謝しております。南月寒小学校としていじめのない学校生活送れるようよろしくお願いします。<br>○小中一貫教育に向けては、お互いの交流機会を増やしていくことによって９年間を見通した一貫性のある教育活動につながっていくものと考えます。<br>○引き続き地域連携含めて進めてください。<br>○大人の第一印象も初対面の挨拶できまると言われています。元気よく挨拶ができる子どもたちを育ててほしい。 | | | | |
| 学校独自に設定する分野 | 「ギンナン活動」（異年齢活動）が子どもたちの自己有用感や自己肯定感につながるように、活動を工夫する。 | | B | 次年度も、異学年交流であるギンナン活動を通じて、相手を思いやる心を育み、児童に適切な役割を与えることで自己肯定感の向上に貢献していく。内容や体制の改善を計画的に行う。 | A | A |
| | 自分の命を大切にし、いじめのない温かな人間関係をつくることができる子どもを目指し、魅力ある学年・学級づくりや教育相談体制の充実を図る | | A | シャボテンログやいじめアンケートを活用し、児童の心や体の様子を細かく見とることができた。また、何か問題が起きたときには学校全体で共有し、組織的に対応することができた。次年度も、細かく児童の様子を見とる体制を大切にするとともに、道徳の時間等を活用しながら、温かな人間関係をつくる子どもを目指す。 | A | A |
| | 地域と保護者と連携を図りながら、効果的に教育活動を行ったり、児童の安全を見守ったりする | | A | 教育活動では、保護者の方にご協力いただきながら、安全に進めることができた。今年度もたくさんの保護者の方にボランティアでご協力いただいた。次年度も共通の目標に向かって積極的に協力し合い、よりよい未来を築いていく。 | A | A |
| 学校関係者評価委員会による意見 | | ○育ちも家庭環境も異なる子どもたちを、学び、豊かな心、健やかな体の育成に向けていくことは大変ご苦労なことだと思いますが、人に優しく、人を許せる、いじめの無い土台が築けるように協力したいと思います。<br>○多学年、中、小、地域連携を引き続き進めてください。<br>○地域と保護者と連携を図りながら教育活動が進められていることはとても大切なことであり、大きな力となっていることが伝わります。<br>○地域行事には、PTA会長さんが中心に参加してくださいまして、心より感謝しています。短い時間でも対話できること、気遣いありがとうございます。 | | | | |